

「市子育て総合支援センターで落成式」

市子育て総合支援センター「こつころ」(工藤正弘所長)の落成式は5月10日、同センターで行われました。関係者や保護者ら約140人が出席し、子育て支援の複合施設落成を祝いました。

同センターは、いずみ保育園のほかに、子育て相談窓口や発達支援施設などが設けられた複合施設です。今後、さまざまな子育てニーズに応じた活用が期待されます。



いずみ保育園児の元気のいい歌でオープニング

「復興支援の書を贈呈」



陸前高田市の戸羽 太 市長に書を手渡す小沢市長

小沢昌記市長は5月6日に大船渡市、9日に陸前高田市を訪れ、復興支援の書を贈呈しました。

書は、両市の復興に向けた精神的な支えとして、奥州大使・清水寺森清範貫主に揮毫を依頼したもの。大船渡市には「一心合力」、陸前高田市には「不撓不屈」の書を贈呈。同書をデザインに入れたポスターは、他の沿岸市町村へも贈呈しました。

「まごころ病院が総務大臣表彰」

国民健康保険まごころ病院は、自治体立優良病院として5月26日、東京都内で総務大臣表彰を受賞しました。全国で6施設が、県内では唯一の受賞。平成16年度以降続ける単年度黒字への経営努力と、地域医療への貢献が認められたものです。

及川雄悦院長は「受賞は患者さん、周辺医療機関の協力と職員の努力があったからこそ。さらに親しまれる病院となるよう努力していく」と抱負を語りました。



関係者ががっちりと握手を交わし、協力を約束

「広沢製作所と市が立地協定を締結」

江刺区の江刺中核工業団地に進出を決めた広沢製作所(廣沢實代表取締役社長)と市の立地調印式は5月16日、プラザイン水沢で行われました。

同社は、トヨタ自動車などの部品を製造。東北地区への進出を検討していたところ、希望する遊休物件が当市にあったことが決め手となりました。当初15人の雇用で9月1日の操業を予定しています。

関西奥州会(森口隆次会長、会員40人)の総会が5月28日、聖護院御殿荘(京都市)で行われました。

同会は平成20年に発足。以来、物産展など当市のPRにご尽力いただいています。総会では、ふるさとを思うさまざまなご提言や激励の言葉が寄せられ、最後に「震災の復興に役立ててほしい」と森口会長から小沢昌記市長に義援金の手渡されました。



左から小沢市長、柏山副会長、森口会長



賞状と盾を手にする、及川院長と小沢昌記市長

「おめでとー!百歳の6人に記念品」

市は、5月に満百歳を迎えた6人に記念品を贈り、長寿を祝いました。

佐藤シゲノさん(江刺区米里字杉ノ下)は、18歳のときに故・留治郎さんと結婚。3男をもうけ、孫4人、ひ孫6人、玄孫3人に恵まれました。子どもと山に泊まり炭焼きをするなど、苦勞をしたそうです。「今の暮らしは夢のようです。末永くお世話をお願いします」と語りました。

伊藤うめよさん(胆沢区南都田字大持)は仙台上生まれ、

24歳で同区小山出身の故・祐吾さんと結婚。1男2女をもうけ、孫6人、ひ孫6人に恵まれました。昭和20年に家族で疎開し、農業で生計を立てました。長寿の秘訣は質素な生活といいます。いつも周囲への感謝を忘れません。

遠藤里治さん(水沢区字東町)は胆沢区小山生まれ、25歳で故・タマヨさんと結婚。1男1女をもうけ、孫5人、ひ孫1人に恵まれました。郵便局に勤める傍ら、狼ヶ志田神楽の指導に当たりました。

今まで選挙と敬老会は、欠かしたことがありません。

及川さよ子さん(前沢区字五十人町)は宮城県歌津町に生まれ、18歳で故・英夫さんと結婚。4男1女をもうけ、孫4人、ひ孫4人に恵まれました。夫婦でふとん店を営み、得意なミシンがけでふとんやカーテンを作りました。「1日2食」が健康の秘訣です。

千田キヨシさん(胆沢区南都田字漆町)は17歳のときに故・善蔵さんと結婚。3男3女をもうけ、孫7人、ひ孫14

人玄孫3人に恵まれました。早くに夫を亡くし、女手一つで農業に励みました。規則正しい生活が長寿の秘訣。毎晩ビールの晩酌が楽しみです。

佐々木源蔵さん(水沢区天文台通り)は胆沢区小山生まれ、23歳で故・正子さんと結婚。4女をもうけ、孫9人、ひ孫7人に恵まれました。大工の棟梁として小学校の校舎なども手がけ、65歳まで活躍趣味は、プロレス観戦と読書です。「ありがたく今日を迎えた。感無量」と語りました。



1日 佐藤シゲノさんを囲み、みんなで記念撮影



10日 お祝いに駆けつけた長男とうめよさん



13日 市長から記念品を受け取る里治さん



18日 家族に囲まれてほほ笑むさよ子さん



22日 玄孫とろうそくの火を消すキヨシさん



30日 お祝いを受けて感無量の源蔵さん